金　井　中　だ　よ　り

令和４年３月１８日

第１１号

校長　仙北屋正樹

３月の言い方	英　語	March（ﾏｰﾁ）	卒業の言い方	Graduation（ｸﾞﾗﾃﾞｭｴｰｼｮﾝ）
	スペイン語	Marzo（ﾏﾙｿｰ）		Graduacion（ｸﾞﾗﾃﾞｭｱｼｵﾝ）

卒業生の皆さん、未来にはばたけ！
3月18日、153名が卒業します　！！

３年という月日は、長いようで短いものです。でも、今年の卒業生にとっては、今までの卒業生とは違う時間の流れを感じているかもしれません。

思い起こせば、卒業生が１年生だった３月から突然の臨時休校、これがコロナ禍の始まりでした。数ヶ月の休校中は家での生活が続き、感染防止のために自由な行動も制限されました。そしてマスクをつけての生活が当たり前になっていきました。まさか、卒業までのつきあいになるとは誰が思ったでしょうか。臨時休校が終わっても学校行事の大部分は中止となり、部活動も自由にできない制限が何度となく繰り返されてきました。楽しみにしていた、英語国内留学も中止となり、修学旅行もいったんは中止となるところでした。そのような状況の中でも、３年生は学校のリーダーとして活躍してくれました。部活動でも、コロナ禍でありながらもすばらしい成績を収め、金井中の名前を高めてくれました。また、委員会や生徒会活動でも積極的に活躍してくれました。いろいろ制限された学校生活の中で、気持ちを高めて生活していくことは大変です。そのような中でも気持ちを奮い立たせて頑張ってきた成果は、卒業後の進路全員決定という形で示してくれました。こんなに頑張ってきた皆さんに、何か思い出に残ることをと考え、１泊２日にはなりますが修学旅行へ行くことを決めました。その思い出は下段で紹介します。

卒業後も、コロナとのつきあいは続くかもしれません。でも、みなさんはたくさんの苦難を乗り越えてきました。それはみなさんだけでなく、全世界が同じ経験をしてきています。今こそ、全世界が手をつなぎ協力してコロナに打ち勝つときです。みなさんにキャリア教育や英語を頑張ってもらったのは、国際人としての力を身につけてもらい、世界で活躍してもらいたいからです。ぜひ、輝く未来を作ってください。

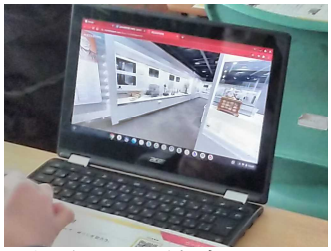
最高の思い出作りでした！修学旅行!!

３月１３日（日）と１４日（月）の２日間、３年生は最初で最後の中学校宿泊行事、修学旅行に出かけてきました。一度は中止となった旅行でしたが、中身を凝縮した形で行うことができました。新横浜から新幹線に乗り込み、新大阪へ向かいます。車内では、コロナ感染のことも考えて生徒のみなさんは静かに過ごしてくれていました。カードゲームなどで楽しんでくれている姿は、いつもとは違うような笑顔が見られてとても気持ちが温かくなりました。新大阪で下車し、そこからはバスで法隆寺へ向かいます。世界最古の木造建築はさすがに荘厳な感じでした。生徒のみなさんも建物や収蔵品に感動しているようでした。そして奈良公園へと向かいます。公園では、もちろん鹿がお出迎えです。「コロナの影響で奈良公園も観光客が減り、鹿さんもあまり鹿せんべいをもらえていないそうなので、せんべいをあげるときに突進してくるかもしれないから気をつけて下さい。」というバスガイドさんの注意に少し警戒しながら、かわいさに負けてみんな頭を一生懸命なでていました。思ったよりは穏やかでみんな鹿さんと戯れていました。その後大仏殿を見学し、その大きさとガイドさんの迫力ある説明に圧倒されながら、琵琶湖へ向か

いました。いよいよ待ちに待ったディナークルージングです。辺りも暗くなり、湖のクルージング船が私たちを迎えてくれました。船内にはバイキング形式の食事が用意されていて、生徒たちの食欲を誘ってくれていました。早速食事が始まりました。今まで見たこともない満面の笑顔で生徒のみなさんは食事を楽しんでいました。その後は船の甲板で夜景を見て、みんなお金持ちになった雰囲気を味わっていました。宿舎は琵琶湖のすぐ近くにある「琵琶湖プリンスホテル」という豪華なホテルに泊まり、友達と楽しい一夜を過ごしたようです。（夜はしっかり眠れましたか？）

翌日は半日の京都巡りです。タクシーに班ごとに乗り込み、ホテルを出発していきました。金閣寺や伏見稲荷、清水寺など有名な場所を見学してきたようです。京都駅に集合してきた皆さんの手には、家族へのお土産がたくさん入った袋がありましたよ。保護者のみなさんもらいましたか？笑顔がたくさん見られた修学旅行、一泊でしたが中味が濃い２日間になったようです。最後に、保護者の皆様のご協力で、コロナ感染もなく終えることができました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

バーチャル映像で東芝未来科学館を見学！



３月８日（火）の６時間目に、３年生はクロムブックを使ったバーチャル体験に挑戦しました。この企画は、以前にプラネタリウム体験を体育館で行ってくれた渡邉さんの紹介で実現した企画です。東芝未来科学館の皆さんに全面的に協力していただき、館内を教室にいながらにして見学できるという企画を、金井中学校３年生が初めて体験してもらうのです。当日は、町田市教育委員会の方々やコミュニティスクール委員の皆さんにも見学していただき、うまく体験ができるのかを確かめていただきました。まず、東芝未来科学館と３年生全員のクロムブックを接続して、生徒のみなさんに館内が見られるかを検証しました。本当にできるのかが心配でしたが、見事にうまくつながり、一人一人のクロムブックに館内の映像が届きました。この東芝未来科学館には、日本の電化製品の移り変わりがわかるように展示されています。まずは、その展示物を係の方が説明してくれます。保護者のみなさんには懐かしい（それは校長の私だけかもしれません）日本で始めての自動式電気釜や電気洗濯機、日本語ワードプロセッサー（文書作成機能を持った最初の機械）などの紹介があり、日本の技術が世界をリードしていることがわかります。このような機器が開発されたことで生活が便利になり、家事に専念しなければならなかった女性が社会へ進出し活躍できるきっかけを作ったことがわかるのです。バーチャルでは、館内にある様々な展示物の紹介を係の方と見学し、その後自分の見たい場所へ画面を触って動かすことで自由に移動することができます。これは本当にびっくりしてしまうシステムでした。まさに、教室にいながら関係見学が十分できるシステムなのです。今回は３年生に体験してもらいましたが、今後は１年生や２年生にもやってもらおうと思っています。できれば、どの施設でもこのようなシステムがあるとうれしいですね。

冨高日向子先輩北京オリンピックで19位！

先日、北京オリンピック・パラリンピックが終わりましたが、２月３日、６日に行われた冨高日向子選手の勇姿を見たでしょうか。冨高選手の出場した種目はスキー・フリースタイル女子モーグル。滑っている様子はテレビでも中継されましたが、小さなジャンプ台から一回転して着地したり、また、小さなコブを避けたりしながら少しでも早くゴールへ向かうという過酷な競技です。小さな身体でなぜあのようなことができるか本当に不思議です。怖くないのか聞いてみたいです。予選１回目は１８位で準々決勝には進めませんでしたが、３日後にもう一度チャンスがあり、見事予選２回目で４位通過、その後の準々決勝で１９位となりました。先日、町田市長さんを表敬訪問した際に、冨高さんは「準々決勝は切り替えて楽しく滑ることができました。成績は悔しい思いもありますが、よい経験ができました。次回までメダル獲得目指してがんばりたいです。」と応えていたそうです。確かに、テレビでのインタビューでは、「楽しんで滑れました」と言って笑顔だったのが印象に残っています。前にもお知らせしましたが、冨高選手には学校へ来てもらうことになっていますから、その時にいろいろ質問してみましょう。大迫選手も引退を撤回して、また世界へ挑戦するようです。関根選手も新しい夢の実現に向かってがんばっています。皆さんも先輩に負けずにがんばりましょう。